

# カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター  
 実施機関名：株式会社アリオシステム

(B)ITスキル・活用	表計算	ピボットテーブルを活用したデータ分析
-------------	-----	--------------------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトのピボットテーブルやピボットグラフが操作できるようになる。</li> <li>業務で扱うデータについて、効率よく多角的なデータ分析を行うための手法を習得する。</li> </ul>
------	---

指導内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 多角的データ分析	(1)ピボットテーブルとは ・「ピボットテーブルはどういう機能なのか」「ピボットテーブルと普通の表はどのように違うのか」「ピボットテーブルを利用するメリット」など、ピボットテーブルの概要や特長などを説明する。  (2)ピボットテーブルの作成 【演習あり】 ・ピボットテーブルの作成方法や各部の名称、基本的な操作方法を説明する。 ・ピボットテーブルの元となる表をデータベース形式にしておくこと、この表のルールについて説明する。あわせて、テーブル機能についても説明する。  (3)ピボットテーブルの活用 【演習あり】 ・年単位や月単位などでグループ集計する方法を説明する。 ・構成比や比率などの集計方法を追加する方法を説明する。 ・フィルターやスライサーを使って、必要なデータを抽出する方法を説明する。 ・ピボットテーブルで集計した項目ごと(店舗別や担当者別など)に、別のシートにピボットテーブルを分割する。  (4)外部データの利用 【演習あり】 ・外部データ(CSVファイル)をExcelに取込み、ピボットテーブルを作成する方法を説明する。	3.0
	2 ピボットグラフによるデータの見える化	(1)ピボットグラフとは ・ピボットグラフを使うと、ピボットテーブルの集計表を簡単にグラフ化できること、ピボットテーブルとピボットグラフは連動していることなどを説明する。  (2)ピボットグラフの作成 【演習あり】 ・ピボットグラフの作成方法や各部の名称、基本的な操作方法を説明する。 ・グラフの見映えを整える操作方法(タイトルや軸ラベルの追加、色の変更方法など)を説明する。  (3)ピボットグラフの種類の変更 【演習あり】 ・データの内容に合わせて、グラフの種類を変更することや操作方法を説明する。 ・1つのピボットテーブルから、たとえば棒グラフと円グラフのような、種類の違うピボットグラフを作成する方法を説明する。	1.5
	2 複数テーブルの分析	(1)リレーションシップの設定 【演習あり】 ・リレーションシップの設定を行うと、複数テーブル(たとえば「売上1月」「売上2月」「売上3月」)を関連付けて、ピボットテーブルで集計できることを説明する。 ・複数テーブル間にリレーションシップを設定する方法を説明する。  (2)複数テーブルのデータ集計 【演習あり】 ・リレーションシップで関連付けした複数テーブルを元に、ピボットテーブルを作成する方法を説明する。  (3)リレーションシップを活用したデータ集計 【演習あり】 ・「商品マスタ」「担当マスタ」「売上伝票」の表にリレーションシップを設定し、ピボットテーブルを作成してデータ集計する方法を演習する。	1.5
		合計時間	6.0

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
・PC(受講人数分) ・OS:Windows7 ・アプリケーション:Microsoft Office 2019 Excel	・PC(講師用) ・OS:Windows7またはWindows10 ・アプリケーション:Microsoft Office Excel2019 ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード
●使用するテキスト	●その他
・自作テキスト	